

# 転倒災害を防ぎましょう！

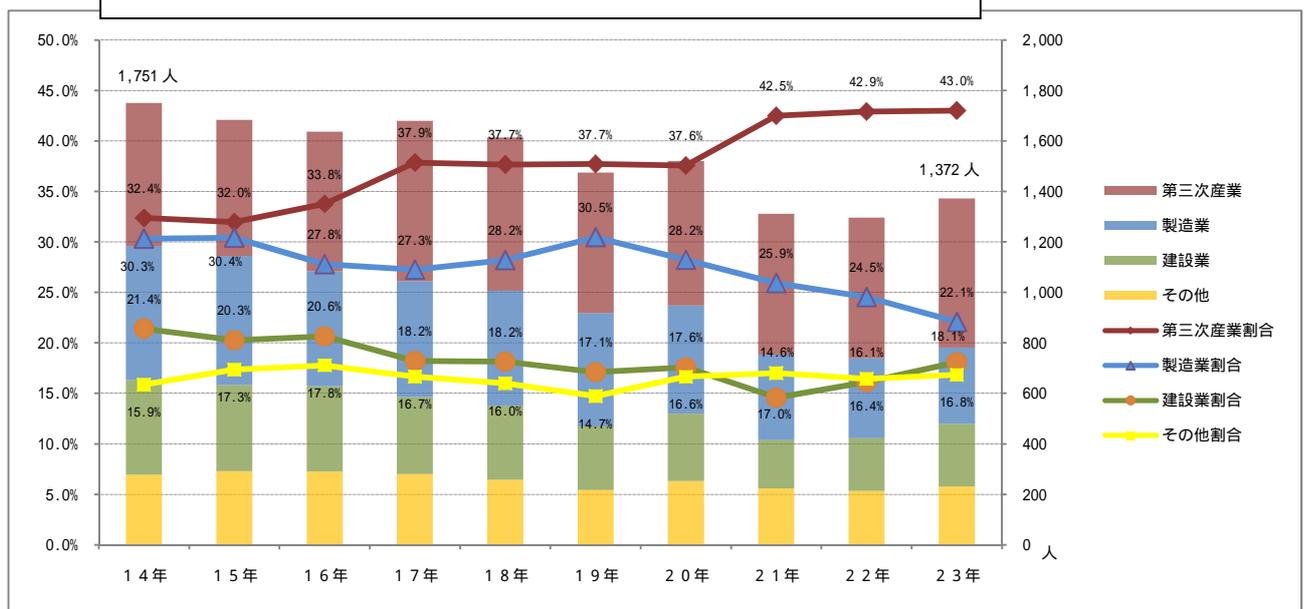
～ 第三次産業に従事する皆さまへ～

厚生労働省山口労働局

山口県内における労働災害は中長期的には減少傾向にありますが、平成23年の労働災害は1,372人となり、3年ぶりに増加しました。製造業や建設業の労働災害が減少傾向にある中、第三次産業の労働災害に減少傾向は見受けられず、労働災害全体に占める割合は年々高くなってきており、平成23年には43.0%に達しています。

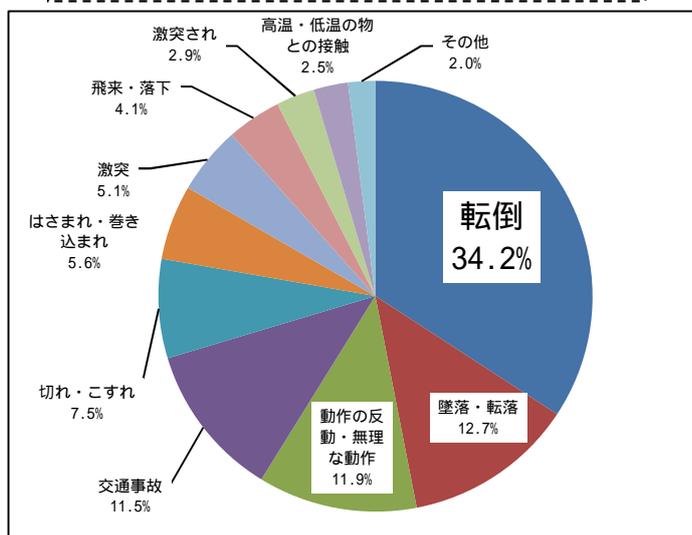


労働災害発生件数と業種別割合の推移(H14～H23)(休業4日以上)



第三次産業について事故の型別に見ると「転倒」が34.2%と最も多く、3人に1人が転倒による災害です。

事故の型別に応じた労働災害発生状況(H23)



厚生労働省山口労働局・各労働基準監督署

# 転倒災害防止のために4S活動(整理、整頓、清掃、清潔)進めましょう

転倒災害防止のために、効果ある日常の活動として4S活動があります。4S活動とは、職場の安全確保の基本であり、事業場における安全衛生活動のみならず、品質活動、生産性向上、顧客満足にもつながるものです。

## 整理

必要な物と不要な物を分けて、不要な物を処分すること。  
通路、階段、出入り口に物を放置しないようにしましょう。

## 整頓

必要なときに必要な物をすぐ取り出せるように、わかりやすく安全な状態で位置させること。物の置き場所、種類、数量を決めておきましょう。

## 清掃

身の回り、空気をきれいにし、衣服や作業場のゴミ・汚れ等をもとから取り除くこと。床の水たまりや氷は放置せず、すぐに除去しましょう。

## 清潔

整理、整頓、清掃を繰り返し、衛生面を確保し、快適な状態を実現・維持すること。手順を定めて定期的に4S活動を行いましょう。

安全担当者からの  
一言アドバイス

危ない箇所は目立つように表示！  
(見える化の推進)

ラジオ体操などで  
身体機能のアップ  
を図ろう！

不安全行動を起こす理由に着目を！

## 最近の転倒災害事例

業種	災害の概要
卸売業	商品を倉庫内に搬入しようとして、商品を両手に抱えたまま、倉庫前の階段を上ろうとしていたところ、両手に抱えた商品で前方が見えず階段の段差につまずき転倒した。
卸売業	積荷卸しの確認作業のため、荷物納品場所の通路を歩行中、片付けがされていなかった梱包用のロープに足を取られ、転倒した。
小売業	作業場で揚げ物作業中、換気扇を回そうとした際に、置いてあった台車に気づかずにぶつかって転倒。右肘を複雑骨折した。
小売業	出勤のため、会社の駐車場で車を降りて、エレベータに向かう途中、鉄板が凍結していたことに気づかず滑って尻餅をつき、腰を強打し骨折した。
病院	一般浴室で患者の入浴介助をしていたところ、患者を抱き抱えて車いすに移動させようとしたとき、滑って仰向けに倒れた。
社会福祉施設	グループホームのユニット洗面所でおしぼりタオルを絞り終え、体の向きを変えたとき、足下にこぼれていた水に足を滑らせ転倒し、右手首を骨折した。
飲食店	朝、店内ホールを清掃中、濡れていた床で滑って転倒し、頭部を打撲した。